

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム和楽の家 久米

目標達成計画

作成日：令和 5 年 4 月 14 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	拘束の勉強会の仕方を工夫してはいかがでしょうか？	言葉によって身体的、または精神的な行動を行動を抑制しない。	定期的に研修を行い、スピーチロックへの理解を深め言い換える表現を意識する。否定的ではなく依頼的で伝える。	12ヶ月
2	35 (13)	火災のみならず、地震などの対策をしてはいかがでしょうか？	人命の安全を確保する。脱出、避難を確実なものにする。	食料品、飲料など備蓄を充実させる。ハザードマップの見直しを行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。